

みらいをつくる

発行：泉佐野市教育委員会
教育部【2023年12月21日】

令和5年度 泉佐野市小中学生人権作品コンテスト

泉佐野市では、市内小中学生が人権について意識を高め、人権が大切にされるまちづくりの主体者として成長していくことを目的として、「泉佐野市小中学生人権作品コンテスト」を実施しています。

このコンテストは、泉佐野市教育委員会、公益社団法人泉佐野市人権協会、泉佐野市人権を守る市民の会が主催し、各団体の代表者より構成する人権作品審査会において審査し、優れた作品を表彰するとともに、広く市民啓発に活用しています。

令和5年度の人権作品コンテストには、市内小中学校の児童生徒のみなさんから、「作文」・「読書感想文」・「詩」・「標語」・「ポスター」・「書道」の全6部門で合計855点の応募がありました。どの作品にも子どもたちの思いや考え等が表現されており、素晴らしい作品ばかりでした。

10月に行われた人権作品審査会において厳正なる審査の結果、各部門・校種ごとに「最優秀賞」「優秀賞」「入選」が決定され、12月2日（土）のエブノ泉の森小ホールにて開催された「2023年度泉佐野市人権のつどい」の第2部「発表のつどい」にて、今年度の人権作品コンテストの表彰式と作品の朗読を行いました。

表彰式では、それぞれの部門において最優秀賞と優秀賞に入賞した小中学生に、泉佐野市人権を守る市民の会会長から表彰状が贈られました。表彰のあとの「詩」「読書感想文」「作文」の朗読発表では、子どもたちが日々のくらしや学校生活の中で感じた人権の大切さや課題

についての思いを発表し、会場から大きな拍手が送られました。

また、当日は小ホール前にて、最優秀賞・優秀賞受賞作品および入選作品の展示も行いました。人権のつどいをとおして、多くの方に人権についての理解を深める機会となりました。

※子どもたちの作品の一部は泉佐野市のホームページで公開しています。ぜひご覧ください。



新池ふれあいフェスタ

11月らしい爽やかな秋晴れのもと、11月3日に新池中学校区地域教育協議会主催「新池ふれあいフェスタ」が開催されました。会場となった新池中学校グラウンドには、青少年指導員や各校PTA、地域の方々や中学校の有志の会などが企画したゲームや模擬店などが所狭しと並びました。

開会式では、吹奏楽部とコーラス部の楽しい演奏の後、新池中学校有志による力強いソーランの演技があり、オープニングを盛り上げました。開会式の後には、いよいよグラウンドでのお楽しみがスタートです。

ストラックアウトやボーリング、輪投げなどゲームコーナーでは、参加した子どもたちの歓声が響きました。模擬店では、BBQやラーメン、フライドポテトに綿菓子やみたらし団子とさまざまな食べ物が並び、どのコーナーにも長い行列ができていました。開始後、瞬間にグラウンドには食べ物のおいしいに



おいと、それをほおばる参加者の楽しそうな笑顔が広がりました。早々に売り切れる模擬店もあり、終了の時間まで賑わいが途切れることなく続きました。

フェスタでは、新池中学校の生徒が開くふれあい喫茶もあり、子どもたちの頑張る姿が随所に見られました。子どもたちを中心として、地域・保護者・学校がつながり、きずなを深める素晴らしい休日となりました。

長南ふれあい祭

11月11日（土）、長南小学校で「第26回長南校区ふれあい祭」が開催されました。

午前9時、開会が宣言されると、各コーナーにはたくさん子どもたちが集まり、活気に満ちあふれました。運動場には電動機関車用のミニ線路が敷かれ、小さいながらも悠々と走る「機関車」に子どもも大人も楽しそうに乗っていました。また、体育館前の「シャボン玉」や「スーパーボールすくい」、校舎内における「プラバンづくり」「お楽しみの入れ」「くじ引き」「わくわくマグネットシート」「レザークラフト」等々たくさんのコーナーがあり、子どもたちは次に行く場所を相談しながら移動し、各コーナーを時間いっぱいまで楽しんでいました。

11時30分からは、受付時にもらったカードに書かれた番号によるお楽しみ抽選会が行われました。見事、抽選に当たった人には豪華な景品が手渡されるとともに、参加者全員に参加賞が手渡され、みんなとてもうれしそうにしていました。

この日、集まった子どもたちは、地域の方々と元気にあいさつをしたり、笑顔で言葉を交わしたりする姿があちらこちらで見られ、地域が子どもたちをしっかりと支え、寄り添っていることが感じられる心温まる一日となりました。

